

## 地震あんしんカルテ

我が家に設置した地震計からデータを収集・解析し、地震が発生した後の建物の健全性を評価します。

【地震発生時刻】2016年12月28日 21時38分頃 【震源地】茨城県北部 【マグニチュード】6.3 (深さ11km)

観測地点 東京都台東区

設置建物

コンクリート造(RC/SRC)

4階 / 15階建て

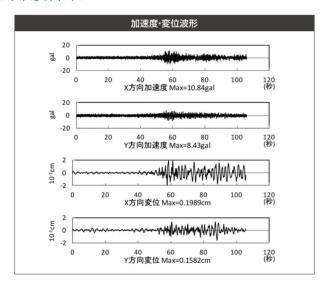
建物健全性評価: 健全 震度: 3

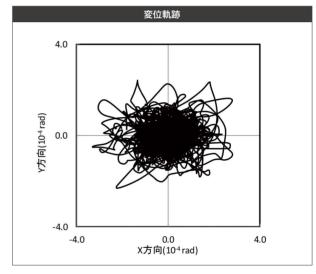
計測震度: 2.5

観測値から推定される固有周期はX方向0.6秒、Y方向0.8秒で、同規模の建物と比較して短めです。 層間変形角は小さく、健全と判定されます。

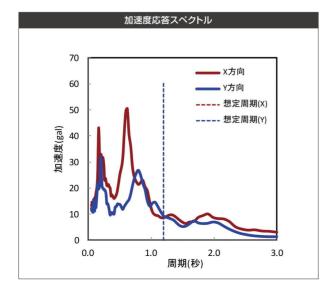
※建物健全性評価は、計測したデータを基に独自で算出したものであり、建物の健全性の目安を示すものです。当カルテをご利用になったことにより生じるいかなる損害についても、 一切責任を負いません。

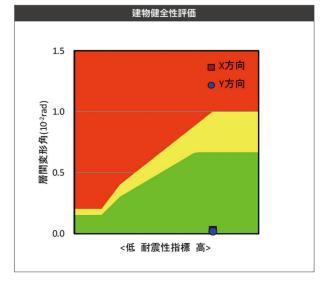
1 計測結果 計測したデータから建物の揺れの大きさや軌跡がわかります。





2解析結果 解析結果から建物の健全性がわかります。





30年地震ハザード

今後30年間に震度6弱の揺れに見舞われる確率 83.6% 【ランク:E 高め】

表層地盤増幅率

地表面近くに堆積した地層の地震時の揺れやすさ

2.38 【ランク:E 高め】



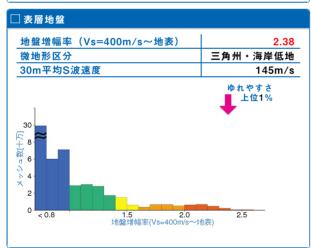
Japan Seismic Hazard Information Station

## 地震ハザードカルテ 2016年版





□30年、50年地震ハザード			
超過確率の値[%]		震度5弱	100.0
人体00年間による高度以上の	30年	震度5強	99.5
今後30年間にある震度以上の 揺れに見舞われる確率の値		震度6弱	83.6
です。		震度6強	30.8
	30年	3%	7
震度の値	30#	6%	6強
今後30年または50年間にある値 以上の確率で見舞われる震度の 値です。	50年	2%	7
		5%	7
		10%	6強
		39%	6強
	30年	3%	169.0
地表の最大速度の値[cm/s]	304	6%	143.3
<b>◆後20年またけ50年間にもでは</b>		2%	205.1
今後30年または50年間にある値 以上の確率で見舞われる地表の	50年	5%	169.1
最大速度の値です。	304	10%	142.7
		39%	90.7



□∧t	□ ハザードカーブと影響地震カテゴリー						
10	2ての地震 海溝型巨大地震 海溝型巨大地震 海溝型形態 を域浅発地震						
30年超過確率	0.2	1," /	30年	3%	71.0		
30		1, "1	[cm/s]	6%	60.2		
				2%	86.2		
10'3		<b>50年</b> [cm/s]	5%	71.1			
			10%	60.0			
16	0-4	, ,,		39%	38.1		
, i	0	50 100 150 基盤上の最大速度[cm/s]					
No.	地震名				震度6弱以上 の影響度[%]		
1		太平洋プレートのプレート間及びプレート内の震源を予め特定しにくい地震 37.6					
2		フィリピン海プレートのプレート間及びプレート内の震源を予め特定しにくい地震 36.6					
3	3 ~ 南海トラフの地震(南海地震・東南海地震・ 想定東海地震) 21.7				21.7		

/s=2,700m/s	上面(	り深さ					3,012n
				度[m/s]			
0	500	1000	1500	2000	2500	3000	3500
400		_					
800							
1200							
<u>E</u> 1600			_				
<del>10</del> 2000		- 1	_		- 1		
<b>₹2400</b>							
2800							_
3200 -							
3600							
4000							

□ 長期間平均ハザード							
	500年相当	6強					
震度の値	1000年相当	7					
及及♥ク値	5000年相当	7					
長期間の再現期間に対応する	1万年相当	7					
震度の値です。	5万年相当	7					
	10万年相当	7					

Copyright© 2012-2016 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

http://www.j-shis.bosai.go.jp/labs/karte